

2023 年度

ニチキッズ盛岡もとみや保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024 年 1 月 4 日（木）～1 月 31 日（水）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月26日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	2023 年度は「おもいっきり遊ぶ、おもいっきり学ぶ」の保育理念に基づき、子どもの創造性を育てることを目標として、手や筆を使った絵の具の製作など自由に個々を発揮できる活動の場を設けた。また、「おやつ de いわて一周」という地元食材に触れる食育活動を通し、郷土の味や方言を学ぶことができた。
子どもの発達援助	園全体の 2023 年度の重点取組目標として、子どもそれぞれの発達に合わせた保育を行うことを掲げ、日々の様子の共有と保育計画の見直しを繰り返した。保育の主役は子どもであることを常に心にとめ、子ども達のために自分達が今行うべきことは何か、自身に問いかけ、スタッフ間でディスカッションを行った。今後も子どもにとっての最善の利益を追求していく。
保護者に対する支援	保護者の方との日々の会話や面談を通し、ご家庭での様子と保育園での様子とを相互共有することで、子ども一人一人に対してご家庭と歩調を合わせた保育を行うことに努めた。また、給食においては喫食状況を確認し、使用食材や提供方法など個々に合わせた対応を行った。
保育を支える組織的基盤	懸案事項があった際にはそれぞれで抱え込まず、即時ミーティングを実施し、対策を立てるというフローが確立した。そのことにより、不適切保育撲滅や、きめ細かな保育の提供について、迅速な対応を行うことが可能となった。

総評
「不適切保育とは何か」という問題提起を行い、繰り返しディスカッションを行うことで、不適切保育に繋がりそうな状況や言葉がけについて、積極的に拾い上げお互いに前向きに声を掛け合うことが、必要であるという共通認識をもつことができた。また、今年度重点的に取り組みを行った子どもの発達援助については、学びがスタッフそれぞれの自信に繋がり、いかなる状況にも対応していくという気風が生まれた。これからも、これに留まることなく自ら課題を見つけ、園全体で最善の保育を見出していきたい。